

Electronics
and
Semiconductor



Transportation

Machinery



Stone
and
Construction

Other



株主のみなさまへ

第98期 報告書

2016年4月1日 ▶ 2017年3月31日



旭ダイヤモンド工業株式会社

証券コード：6140

ごあいさつ

株主のみなさまにおかれましては、日頃より当社へのご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに第98期（2017年3月期）の営業概況をご報告し、「中期経営計画2017-Polish Up Asahi-」の進捗と今後の見通しについてご説明させていただきます。ご一読を賜り、当社へのご理解を一層深めていただければ誠に幸いに存じます。

2017年6月

代表取締役社長 **片岡 和喜**



Q 当期（第98期）の営業概況について
総括願います。

A [EcoMEP]の販売単価が下落。期初の業績予想
を下回り、減収・減益となりました。

当期は、主に電着ダイヤモンドワイヤ「EcoMEP（エコメップ）」の販売単価下落が響き、加えて円高が拍車をかけたことにより、売上高・利益ともに期初の予想を大きく下回る状況となりました。

業界別に振り返ると、電子・半導体業界は、中国において太陽電池シリコンウェーハメーカーの供給過剰に伴う在庫調整の影響と販売単価下落により、期後半から「EcoMEP」の販売は大幅に減少しました。そのため「EcoMEP」全体の売上高は、前期比15.7%減の83億88百万円にとどまりました。またフラットパネルディスプレイが生産調整に入り、液晶関連

工具の販売も減少しましたが、半導体関連工具の販売は前期を上回りました。

輸送機器業界は、航空機関連工具の使用量が減少しましたが、海外自動車生産の拡大を受けて自動車関連工具の販売が増加するとともに、高精度工具の投入により、全体でプラス成長を維持しました。

機械業界は、産業機械向けの軸受生産が減少し、超硬工具や工作機械も低調に推移したことから、それぞれ関連工具の販売が減少しました。石材・建設業界においても、公共工事が前期を下回る中で、国内における建設関連工具の販売が減少しました。

結果として当期の連結業績は、売上高420億24百万円（前期比7.6%減）、営業利益26億45百万円（同44.3%減）、経常利益29億45百万円（同42.2%減）、親会社株主に帰属す

る当期純利益24億87百万円(同25.5%減)と、大幅な減収・減益を余儀なくされました。

なお、期末配当金は1株につき6円、中間配当金と合わせた年間配当金は1株につき16円となりました。

Q 「中期経営計画2017-Polish Up Asahi-」の進捗はいかがですか？

A 数値目標は未達の見通しながら、成長戦略に基づくグローバル施策は着実に進展しております。

創立80周年を迎える2017年度に向けた「中期経営計画2017」は、当期で2年度目を終えました。数値目標に掲げた計画最終年度の連結業績における「売上高510億円」「営業利益80億円」「ROE10%」については、残念ながら未達となる見通しです。しかし成長戦略の実行テーマに定めた、グローバル市場における「最高品質の製品開発」と「顧客満足度の高いサービス」、グローバル化に対応した「人材の育成」については、着実に進展しております。

計画策定から2年が経過し、製品開発面では、「EcoMEP」の細線化対応や多結晶シリコン向けをはじめとする用途拡販、一般工具の多様な顧客ニーズに対応した高精度工具の投入などにより成果を上げております。サービス面では、販売拠点をスウェーデン、ドイツ、メキシコ、マレーシアに設立し、ソリューション営業によるニーズ対応の強化を図りました。またタイの販売拠点は新たに工場を確保し、修理サービスの現地提供を開始しております。人材育成面では、階層研修を導入し、グローバル人材養成も実施しております。

今後の成長に向けた経営資源の投入についても、先に述べました海外販売拠点の設置や、設備投資、研究開発投資を積極的に実行しております。2017年3月には、千葉県袖ヶ浦市に千葉第三工場(仮称)用地を落札し、今後、生産品目再編を含めて計画を具体化してまいります。

次期(第99期)は「中期経営計画2017」の最終年度として、これらの成長戦略を継続しつつ、3年間の取り組みの総仕上げを行ってまいります。

Q 次期(第99期)の見通しをお聞かせください。

A 中長期の視点で成長投資を実施し、「グローバルダイヤモンド工具メーカー」を目指します。

次期の業績については、依然として太陽電池シリコンウエーハにおける厳しい環境が続き、電子・半導体業界向けは売上減を予想しておりますが、輸送機器、機械、石材・建設の各業界向けが回復に向かい、全体の売上高は横ばいを見込んでおります。一方利益面は、当社グループのシステム改修に伴う一時費用の計上等により、減益となる見通しです。

当社は、引き続き中長期の視点で成長投資を実施しながら、「グローバルダイヤモンド工具メーカー」を実現すべく、一歩一歩確実に前進してまいります。株主のみなさまにおかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

第99期の連結業績予想 (2017年4月1日から2018年3月31日まで)

売上高	42,000百万円	(当期比 0.1%減)
営業利益	1,660百万円	(当期比 37.2%減)
経常利益	1,910百万円	(当期比 35.2%減)
親会社株主に帰属する当期純利益	1,360百万円	(当期比 45.3%減)
年間配当金	1株当たり10円	(中間3円、期末7円)

※ 当報告書に記載の予想は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

旭ダイヤモンドグループのビジネスフィールド

当社グループは、世の中に存在する最も硬い素材であるダイヤモンドおよびCBNを使用した工具を製造・販売しており、「切る」、「削る」、「磨く」、「穿つ」などといったものづくりの基本となる工程において、幅広い業界のお客様から高い信頼を得ております。

電子・半導体業界

Electronics and Semiconductor

太陽電池向け電着ダイヤモンドワイヤの販売数量は伸びましたが、ウェーハ価格低下による販売単価の下落等を受け、売上高は183億23百万円(前期比9%減)となりました。



売上構成比

43.6%



売上高

18,323百万円



売上高 (単位: 百万円)



輸送機器業界

Transportation

自動車業界では世界全体での生産台数が増加し関連工具の販売が増加した一方、航空機関連工具は使用量減少のため売上高が減少し、売上高は84億81百万円(前期比0.5%増)となりました。

売上構成比

20.2%



売上高

8,481百万円



売上高 (単位: 百万円)



機械業界

Machinery

軸受業界や超硬工具業界が生産減少し、また工作機械業界も振るわず関連工具の販売が減少し、売上高は88億5百万円(前期比6%減)となりました。



売上構成比

21.0%



売上高

8,805百万円

売上高 (単位: 百万円)



石材・建設業界

Stone and Construction

国内の建設業界は公共投資が前期を下回り、また補修工事も減少したことにより関連工具の販売が減少し、売上高は48億18百万円(前期比13%減)となりました。

売上構成比

11.4%



売上高

4,818百万円



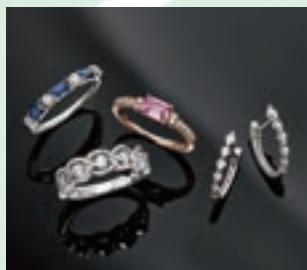
売上高 (単位: 百万円)



その他

Other

大学、研究機関、窯業及び宝飾等上記以外の業種への売上高は15億95百万円(前期比19.3%減)となりました。



売上構成比

3.8%

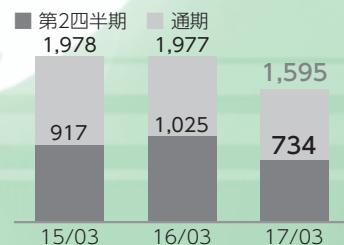


売上高

1,595百万円



売上高 (単位: 百万円)



日本

(単位:百万円)

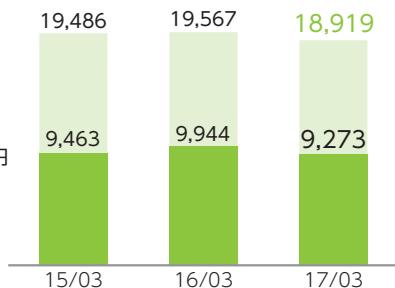
■ 第2四半期
■ 通期

売上高

18,919百万円

売上構成比

45.0%



台湾

(単位:百万円)

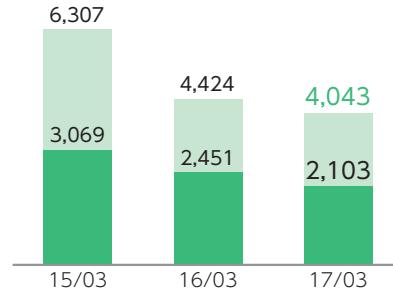
■ 第2四半期
■ 通期

売上高

4,043百万円

売上構成比

9.6%



中国

(単位:百万円)

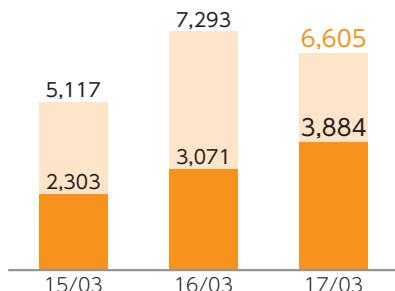
■ 第2四半期
■ 通期

売上高

6,605百万円

売上構成比

15.7%



その他アジア・オセアニア

(単位:百万円)

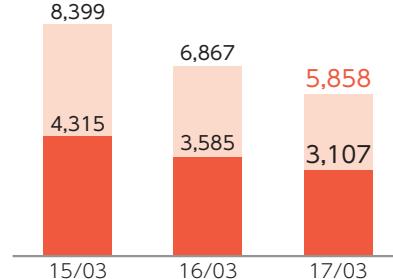
■ 第2四半期
■ 通期

売上高

5,858百万円

売上構成比

14.0%



ヨーロッパ

(単位:百万円)

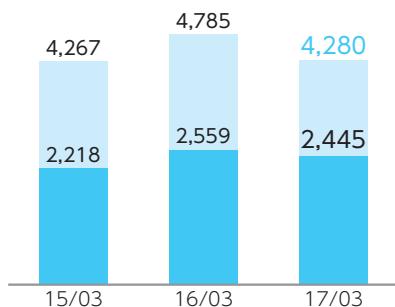
■ 第2四半期
■ 通期

売上高

4,280百万円

売上構成比

10.2%



その他

(単位:百万円)

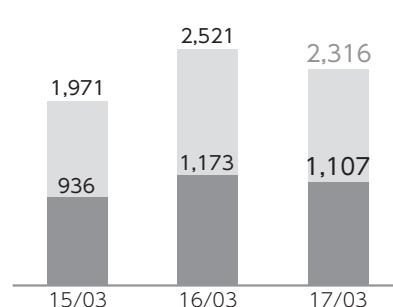
■ 第2四半期
■ 通期

売上高

2,316百万円

売上構成比

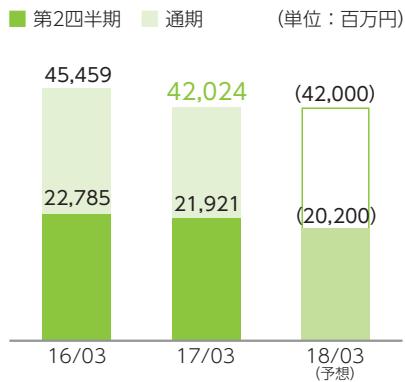
5.5%



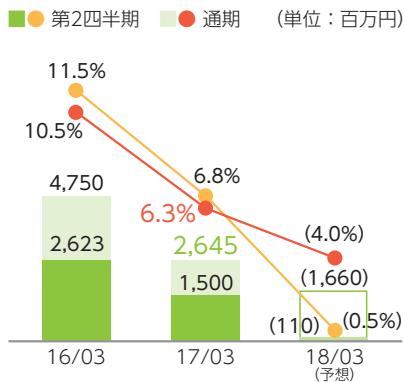
当期の
業績のポイント

売上高	42,024 百万円	(前期比 7.6% 減↓)
経常利益	2,945 百万円	(前期比 42.2% 減↓)
親会社株主に帰属する当期純利益	2,487 百万円	(前期比 25.5% 減↓)
年間配当金	16 円	(前期比 14 円 減↓)

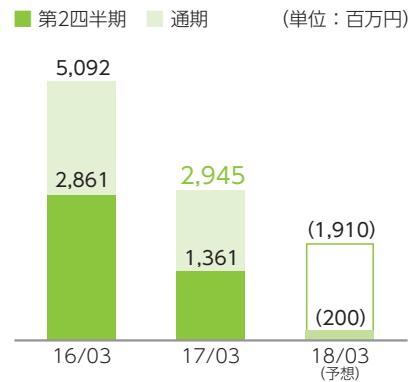
売上高



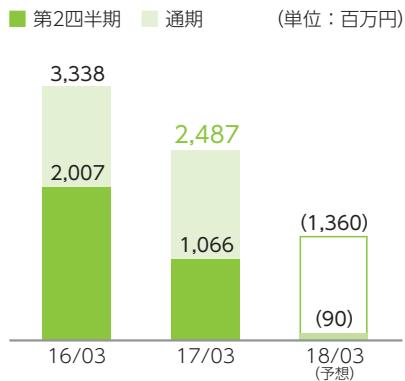
営業利益及び売上高営業利益率



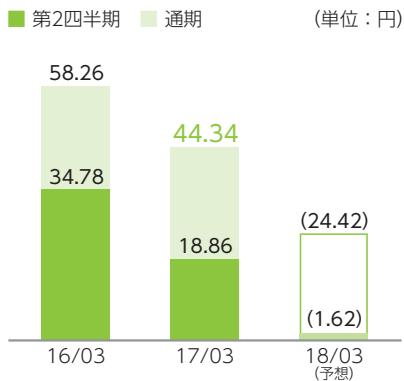
経常利益



親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益



1株当たり当期(四半期)純利益



1株当たり配当金



千葉第三工場（仮称）用地を落札しました

1987年に竣工した千葉鶴舞工場の老朽化が進み、建て替えもむずかしいことから、新工場建設用地として次のとおり落札いたしました。

今後、国内他工場との生産品目再編を含めて、新工場建設計画を具体化してまいります。

名 称	千葉第三工場（仮称）用地
所 在 地	千葉県袖ヶ浦市 袖ヶ浦椎の森工業団地
敷地面積	80,000㎡
取得価格	約18億円
売買契約及び所有権移転	2018年3月末以降（予定）



連結貸借対照表の要旨

(単位：百万円)

	当期 2017.3.31	前期 2016.3.31
資産の部		
流動資産	33,160	33,813
固定資産	37,521	37,325
有形固定資産	23,133	24,556
無形固定資産	123	120
投資その他の資産	14,265	12,648
資産合計	70,682	71,139
負債の部		
流動負債	4,964	5,730
固定負債	8,429	8,465
負債合計	13,394	14,195
純資産の部		
株主資本	53,065	52,832
資本金	4,102	4,102
資本剰余金	7,129	7,129
利益剰余金	41,836	41,615
自己株式	△ 2	△ 15
その他の包括利益累計額	3,044	2,910
その他有価証券評価差額金	2,958	2,346
土地再評価差額金	162	162
為替換算調整勘定	△ 53	479
退職給付に係る調整累計額	△ 23	△ 78
非支配株主持分	1,178	1,201
純資産合計	57,288	56,943
負債純資産合計	70,682	71,139

連結損益計算書の要旨

(単位：百万円)

	当期 2016.4.1から 2017.3.31まで	前期 2015.4.1から 2016.3.31まで
売上高	42,024	45,459
売上原価	31,129	31,928
売上総利益	10,895	13,530
販売費及び一般管理費	8,250	8,780
営業利益	2,645	4,750
営業外収益	453	513
営業外費用	153	171
経常利益	2,945	5,092
特別利益	419	59
特別損失	123	120
税金等調整前当期純利益	3,241	5,031
法人税等	699	1,631
当期純利益	2,541	3,399
非支配株主に帰属する当期純利益	54	61
親会社株主に帰属する当期純利益	2,487	3,338

連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位：百万円)

	当期 2016.4.1から 2017.3.31まで	前期 2015.4.1から 2016.3.31まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,205	7,290
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,194	△ 3,228
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,631	△ 3,590
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 68	△ 362
現金及び現金同等物の増減額	2,310	109
現金及び現金同等物の期首残高	12,966	12,857
現金及び現金同等物の期末残高	15,276	12,966

詳しい決算情報は当社IR情報をご覧ください。 ➔ <http://www.asahidia.co.jp/ir/>

旭ダイヤ IR 

株式の状況

発行可能株式総数 190,300,000株
 発行済株式の総数 55,700,000株
 株主数 13,649名

大株主 (上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,800	3.23
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE NVI01	1,693	3.04
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,384	2.49
旭ダイヤモンド社員持株会	1,370	2.46
ユニオンツール株式会社	1,310	2.35
三井住友信託銀行株式会社	1,270	2.28
GOVERNMENT OF NORWAY	1,247	2.24
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY	1,174	2.11
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口5)	1,099	1.97
日本生命保険相互会社	1,039	1.87

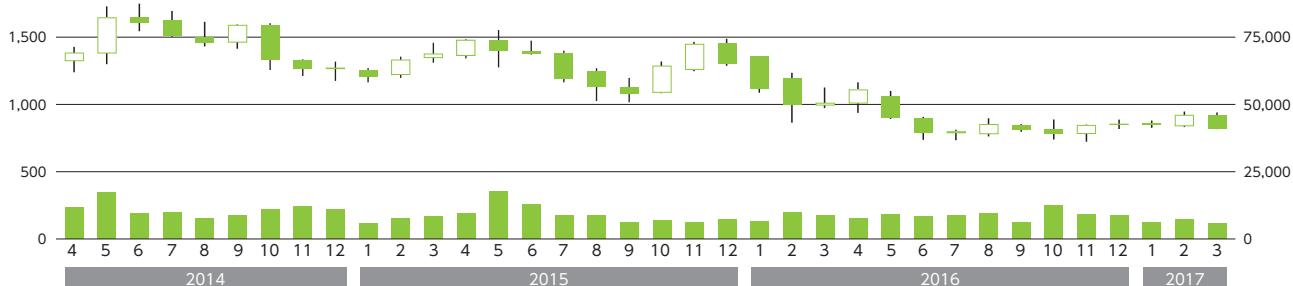
(注)1. 持株比率の計算は、自己株式3,303株を除いて計算しております。

(注)2. 持株数については、表示単位未満の端数を切り捨て、持株比率については四捨五入して表示しております。

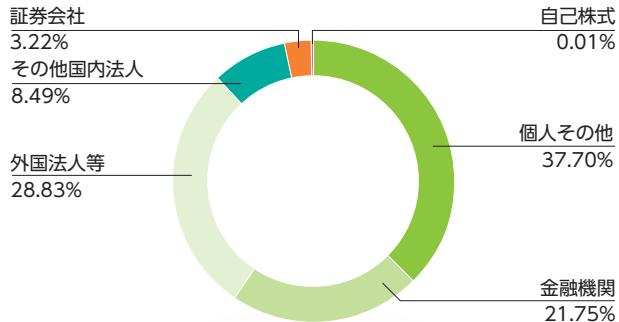
株価・出来高推移

(単位：円)
2,000

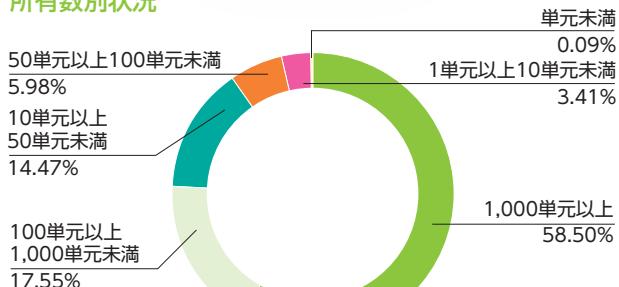
(単位：千株)
100,000



所有者別状況



所有数別状況



会社概要

商号 旭ダイヤモンド工業株式会社
 英文社名 Asahi Diamond Industrial Co., Ltd.
 本社所在地 東京都千代田区紀尾井町4番1号
 設立年月日 1937年10月9日
 資本金 4,102,188,450円
 従業員数 1,037名 (連結 2,146名)

役員 (2017年6月27日現在)

取締役

代表取締役社長	片岡和喜
代表取締役常務	粉川和勇
常務取締役	奥井威夫
取締役	藍敏雄
取締役	谷口和昭
取締役	鈴木徹
取締役	萩原利昌
取締役(社外)	小山修
取締役(社外)	永田新一

監査役

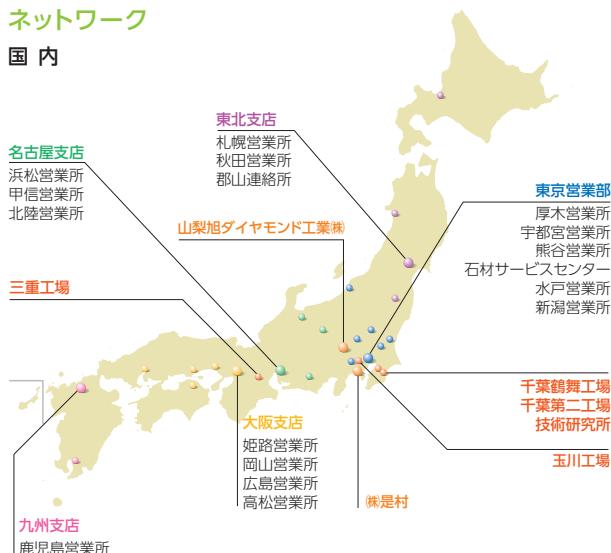
常勤監査役	香山盛夫
監査役(社外)	大高由紀夫
監査役(社外)	川嶋誠人

執行役員

常務執行役員	大河内孝夫
常務執行役員	滝口明
執行役員	井元修三
執行役員	阿部英夫
執行役員	原智彦
執行役員	望月政司
執行役員	松田順一
執行役員	松川英樹
執行役員	花木永典

ネットワーク

国内



海外



株主メモ

決算と配当金のお支払	毎年3月31日を決算期とし、年1回の決算を行います。配当金は毎決算期現在(中間配当をする場合は毎年9月30日現在)の最終の株主名簿に記録された株主又は登録質権者に対し、ご指定の方法によりお支払いいたします。
定時株主総会	毎年6月下旬に開催いたします。
定時株主総会の基準日	毎年3月31日 その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
単元株式数	100株
公告方法	電子公告の方法により、当社ホームページに掲載いたします。(http://www.asahidia.co.jp/) 但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。



WEB サイトのご案内

当社ホームページでは、事業内容をはじめ、最新のニュースリリースやIR情報、ジュエリーの情報を掲載しております。ぜひご覧ください。



URL : <http://www.asahidia.co.jp/>



Asahi Diamond Industrial Co., Ltd.

